



まっすぐ、速い。

2018年3月期決算説明会

2018年5月9日

京成電鉄株式会社
代表取締役社長

小林敏也

I. 2018年3月期の業績

II. 2019年3月期の取り組み

III. 2019年3月期の業績予想

IV. E3プランの進捗状況

V. 参考資料

1.業績概要（前期比較）

営業収益・営業利益・経常利益は**過去最高**

単位：百万円、%	2018/3 実績	2017/3 実績	増減	率
営業収益	255,028	245,837	9,191	3.7
営業利益	30,085	30,048	36	0.1
（営業利益率）	11.8	12.2	△0.4pt	-
経常利益	47,145	47,064	80	0.2
持分法投資利益	18,178	18,991	△812	△4.3
親会社株主に帰属 する当期純利益	34,811	35,711	△900	△2.5
減価償却費	25,531	23,891	1,639	6.9
有利子負債残高 ※	302,301	314,348	△12,046	△3.8
EBITDA倍率 （倍）※	5.5	5.9	△0.4pt	-

※EBITDA倍率 = 有利子負債残高 ÷ (営業利益 + 減価償却費)

なお、有利子負債残高にはリース債務を含む

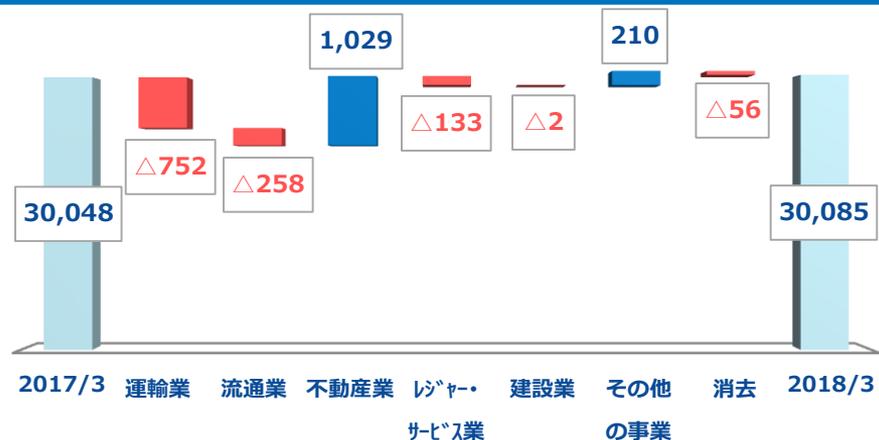
■ 営業収益増減（セグメント別）

（単位：百万円）



■ 営業利益増減（セグメント別）

（単位：百万円）



2.連結貸借対照表/連結キャッシュ・フロー計算書

- ・自己資本の増加、有利子負債の削減により、自己資本比率は上昇
- ・新規賃貸物件等の取得に伴い、投資支出が増加

■ 連結貸借対照表

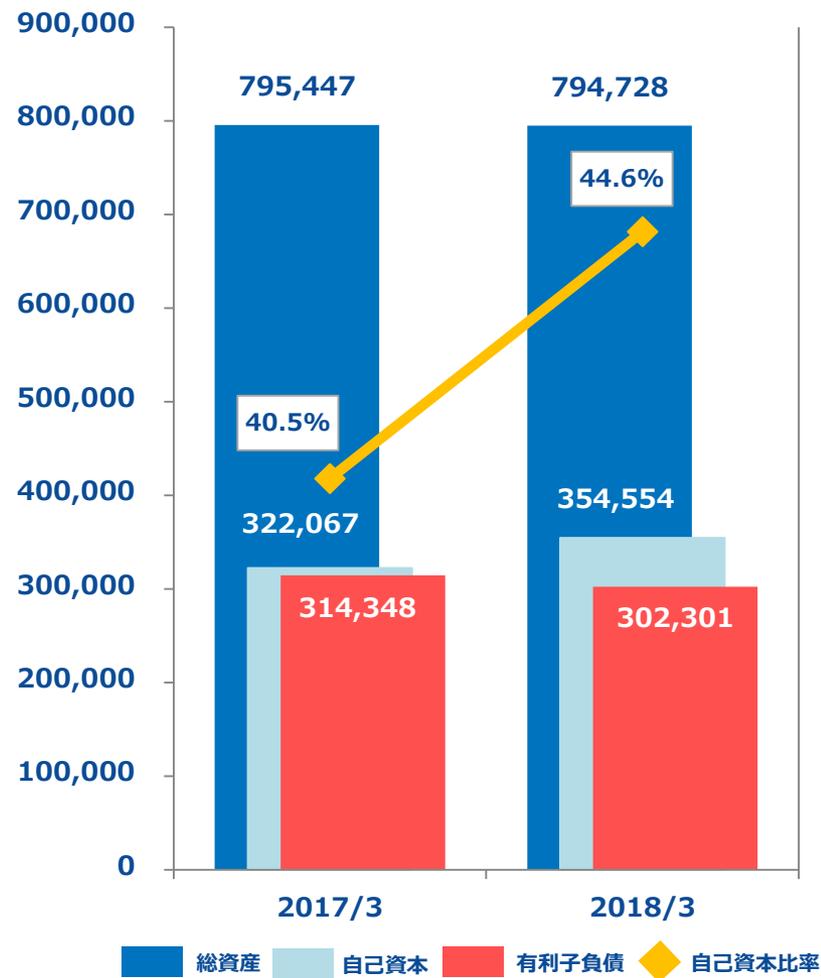
単位：百万円、%	2018/3 実績	2017/3 実績	増減
総資産	794,728	795,447	△719
有利子負債残高 ※	302,301	314,348	△12,046
純資産	366,423	332,344	34,078
自己資本	354,554	322,067	32,487
自己資本比率	44.6	40.5	4.1pt

※リース債務を含む

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円	2018/3 実績	2017/3 実績	増減
営業CF	47,952	45,133	2,818
投資CF	△27,023	△21,535	△5,487
(フリーCF)	(20,929)	(23,598)	(△2,669)
財務CF	△19,878	△31,787	11,908
現金及び 現金同等物の増減額	1,050	△8,189	9,239

単位：百万円



3.セグメント別業績（運輸業）

鉄道・バス事業で成田空港輸送が好調に推移し**増収**、減価償却費等の増により減益

単位：百万円、%	2018/3 実績	2017/3 実績	増減	率	増減要因
営業収益	148,894	144,322	4,571	3.2	
鉄道事業	79,824	76,980	2,843	3.7	成田空港輸送の増
バス事業	45,207	44,182	1,024	2.3	高速・乗合・貸切バス収入の増
タクシー事業	23,862	23,159	703	3.0	帝都葛飾交通の通期寄与
営業利益	20,534	21,287	△752	△3.5	
鉄道事業	15,388	15,926	△537	△3.4	減価償却費・修繕費の増
バス事業	4,365	4,527	△162	△3.6	減価償却費・燃料費の増
タクシー事業	779	832	△52	△6.4	
減価償却費	21,350	19,818	1,531	7.7	

3.セグメント別業績（運輸業） - 運輸成績[当社単体]

■ 輸送人員

単位：千人、%	2018/3 実績	2017/3 実績	増減	率
定期	168,226	164,250	3,976	2.4
定期外	118,703	116,034	2,669	2.3
合計	286,929	280,284	6,645	2.4

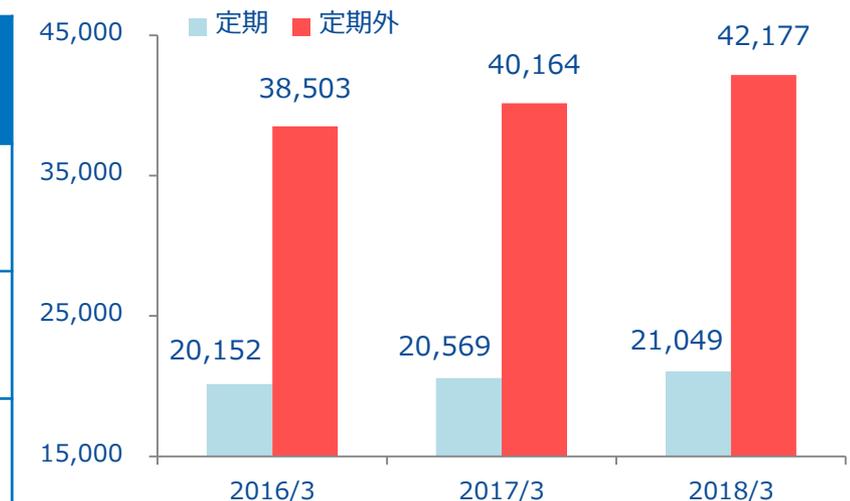
単位：千人



■ 旅客運輸収入

単位：百万円、%	2018/3 実績	2017/3 実績	増減	率
定期	21,049	20,569	480	2.3
定期外	42,177	40,164	2,012	5.0
合計	63,227	60,734	2,492	4.1

単位：百万円

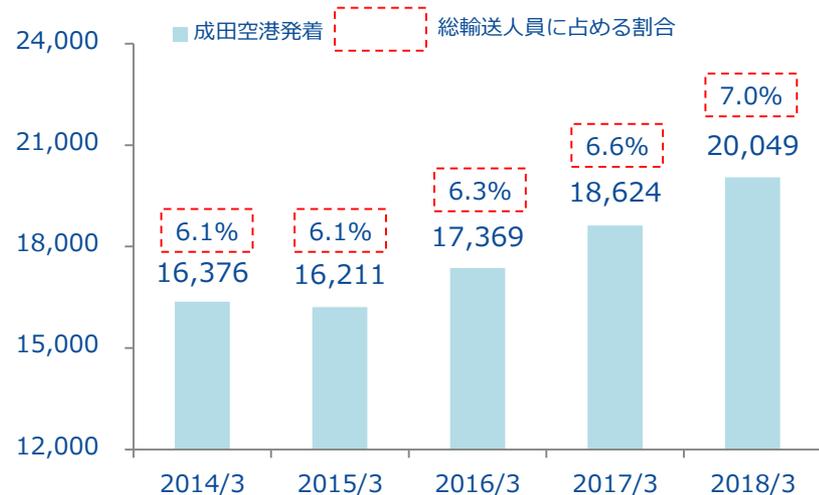


3.セグメント別業績（運輸業） - 成田空港輸送成績[当社単体]

■ 輸送人員

単位：千人、%	2018/3 実績	2017/3 実績	増減	率
成田空港発着	20,049	18,624	1,425	7.7
有料特急	5,544	5,018	526	10.5

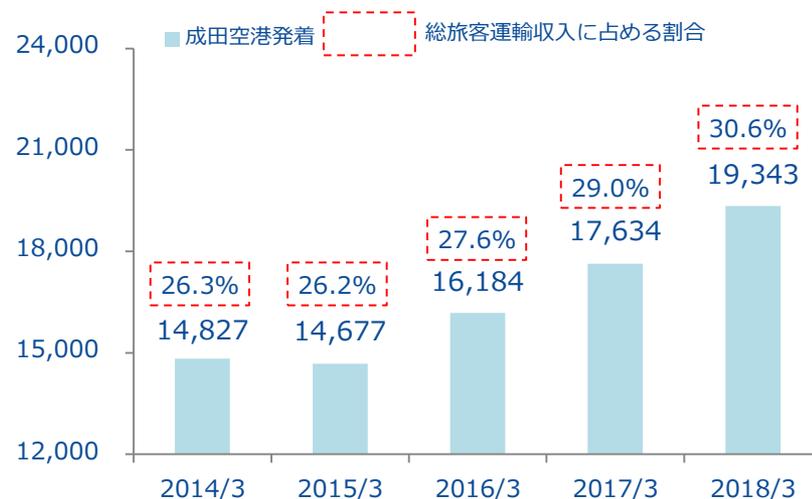
単位：千人



■ 旅客運輸収入

単位：百万円、%	2018/3 実績	2017/3 実績	増減	率
成田空港発着	19,343	17,634	1,708	9.7
有料特急	5,278	4,780	497	10.4

単位：百万円



3.運輸業における取り組み

■ 訪日外国人向け商品の販売促進(海外)

- ▶ 海外現地旅行会社等での企画乗車券販売
 - 2015年度8か国19社
 - 2017年度 **18か国33社**
- ▶ 海外旅行博への出展拡大
 - 2015年度2か国
 - 2017年度 **9か国**



- ▶ 韓国の空港鉄道と企画乗車券を相互販売

■ 訪日外国人受け入れ環境整備

- ▶ 全駅の運行情報ディスプレイを多言語化(2018年3月)
 - (日本語・英語・中国語(簡体字)・韓国語の4言語)



■ 駅ホームにおける安全性向上

- ▶ 日暮里駅下りホームへのホームドア導入(2018年2月)



4.セグメント別業績（不動産業）

マンション販売戸数の増、新規賃貸物件の稼働等により、**増収増益**

単位：百万円、%	2018/3 実績	2017/3 実績	増減	率	増減要因
営業収益	20,219	17,457	2,762	15.8	
販売業	5,598	3,561	2,037	57.2	マンション販売戸数の増 ※
賃貸業	11,011	10,487	523	5.0	新規賃貸物件の稼働及び通期寄与 ※
管理業	3,609	3,408	200	5.9	
営業利益	6,651	5,621	1,029	18.3	※主な分譲マンション・新規賃貸物件 分譲マンション（2016年度） ・サングランデ松戸 36戸（2017年3月引渡） 分譲マンション（2017年度） ・サングランデ ザ・レジデンス千葉 ウエストレジデンス 98戸（2018年2月引渡） 新規賃貸物件 ・四街道市 商業施設（2016年12月） ・押上線高架下 賃貸施設（2016年10月より順次稼働） ・土浦市 商業施設（2017年3月） ・江東区 ホテル（2017年4月）
販売業	875	176	699	395.3	
賃貸業	5,527	5,228	299	5.7	
管理業	248	216	31	14.6	
減価償却費	3,130	2,964	166	5.6	
マンション 販売戸数（戸）	98	36	62	-	

4.不動産業における取り組み

■ 収益賃貸物件等の取得

- 9物件取得



八千代市賃貸住宅

■ 優良な住環境の提供

- サングランデ津田沼（81戸）



■ 沿線保有資産の高度利用

- 資産の高度利用



江東区ホテル

- 高架下開発の推進



船橋高架下保育施設

5.セグメント別業績（流通業）

ストア業の新店効果により**増収**、ストア業の新店開業費・人件費増により**減益**

単位：百万円、%	2018/3 実績	2017/3 実績	増減	率	増減要因
営業収益	68,581	68,415	166	0.2	
ストア業	37,233	36,978	255	0.7	新店開業による増 ※
百貨店業	25,611	25,492	118	0.5	
その他	5,737	5,944	△207	△3.5	園芸植物卸売業の減
営業利益	663	921	△258	△28.0	※主な新店 京成ストア（リブレ京成） ・リブレキッチン国府台店 オープン（2017年9月） コミュニティー京成（ファミリーマート） ・京成津田沼駅構内店 オープン（2016年9月） ・青砥駅下りホーム店 オープン（2017年2月） ・青砥駅上りホーム店 オープン（2017年2月） ・公津の杜駅店 オープン（2018年3月） ・津田沼パルコ店 オープン（2018年3月）
ストア業	399	575	△175	△30.5	
百貨店業	29	51	△21	△42.1	
その他	234	294	△60	△20.6	
スーパーマーケット店舗数 ※	21	20	1	-	
コンビニエンスストア店舗数 ※	48	46	2	-	

5.流通業における取り組み

■ コンビニエンスストア業における新規出店

- ファミリーマート2店舗 新規出店



ファミリーマート津田沼パルコ店

■ スーパーマーケット業における新規出店

- リブレ京成1店舗 新規出店(新業態店舗)



リブレキッチン 国府台店

■ 水戸京成百貨店における増収施策

- 中元・歳暮時期にギフトセンターを開設(つくば市)



ファミリーマート公津の杜駅店

6.セグメント別業績（レジャー・サービス業、建設業、その他の事業）

■レジャー・サービス業

単位：百万円、%	2018/3 実績	2017/3 実績	増減	率	増減要因
営業収益	9,252	10,166	△914	△9.0	遊技場業の撤退
営業利益	169	302	△133	△44.1	

■建設業

単位：百万円、%	2018/3 実績	2017/3 実績	増減	率	増減要因
営業収益	22,255	21,673	581	2.7	完成工事高の増
営業利益	1,497	1,500	△2	△0.2	

■その他の事業

単位：百万円、%	2018/3 実績	2017/3 実績	増減	率	増減要因
営業収益	8,603	5,064	3,538	69.9	京成オートサービスの新規連結
営業利益	476	266	210	79.0	

I. 2018年3月期の業績

II. 2019年3月期の取り組み

III. 2019年3月期の業績予想

IV. E3プランの進捗状況

V. 参考資料

1.インバウンド市場の深耕

- ・ 海外旅行会社との提携拡大
- ・ 成田空港アクセスの利便性向上・輸送力増強

2.事業機会を活かした収益拡大

- ・ M&Aの推進
- ・ 不動産賃貸物件の開発・取得

3.沿線エリアの魅力向上

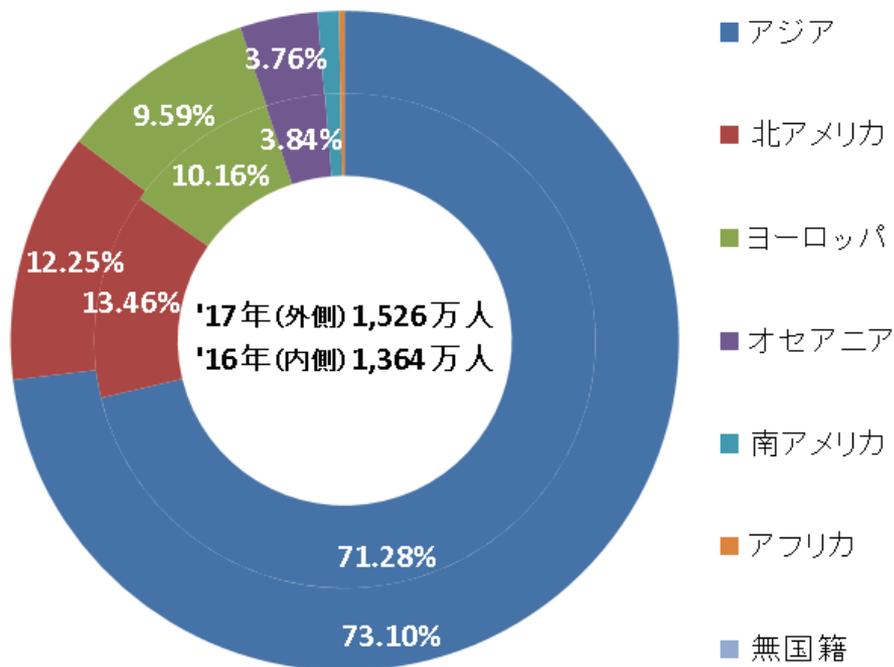
- ・ 魅力ある駅空間の創造
- ・ 沿線自治体などとの連携強化

4.安全・安心の確保並びにサービス品質の向上

- ・ 鉄道施設の強靱化による安全性・信頼性の向上
- ・ お客様サービスの向上

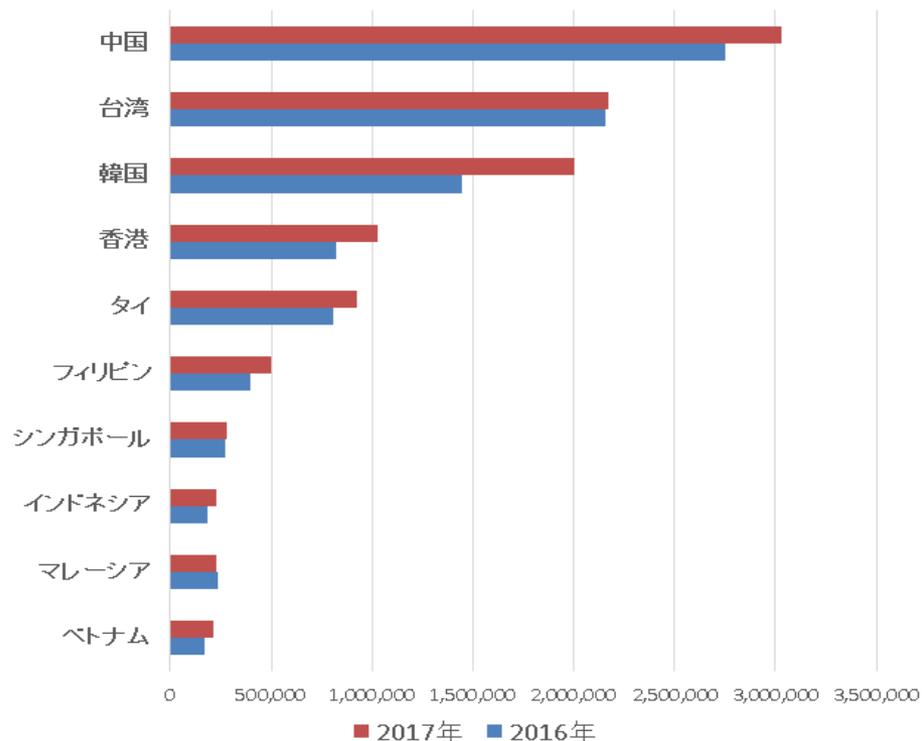
■ インバウンド市場の近況

➤ 成田空港における出入国外国人数



出典：法務省「出入国管理統計」

➤ 成田空港におけるアジア各国の出入国外国人数



➤ 成田空港における出入国外国人数の7割を占めるアジアを中心に営業を推進する

■ 成田空港アクセスの認知度向上

- 販路拡大に向けた海外旅行会社等との協議
 - 海外旅行博への出展（アジア10か国を予定）
 - スカイライナー券・成田スカイアクセスのPR
 - グループ会社の紹介を含めたチラシ等の配布



■ 成田空港旅客の取り込み強化

- 韓国を始めとする海外鉄道会社との連携および企画乗車券等の相互発売検討
- スカイライナーWEBページの改修
- チケットレスサービスへのID決済サービス導入
- グループ内横断的なインバウンド施策検討

■ 成田空港アクセスの利便性向上・輸送力増強

- 旅客ニーズに合わせたダイヤの検討
- スカイライナー車両1編成を増備（2019年度予定）



2.事業機会を活かした収益拡大

■ 不動産賃貸物件の開発・取得

➤ 高架下開発の推進①

－保育園2か所の開設（町屋駅・曳舟駅）



まなびの森保育園 町屋



まなびの森保育園 曳舟

➤ 高架下開発の推進②

－墨田区と連携した児童施設の開設（曳舟駅）



➤ 保有資産の高度利用



白山土地賃貸施設(マンション) 日暮里高架協賃貸施設(マンション)



2.事業機会を活かした収益拡大

■ 宿泊主体型ホテル事業の推進

- 第1号ホテルとして（仮称）京成リッチモンドホテル東京門前仲町（客室数123室）の開業を予定（2018年度内）
- 第2号以降の検討を加速



■ M & Aの推進

- 当社沿線エリアにおける事業基盤の強化を見据え、千葉県市川市にて賃貸仲介事業等を展開する不動産会社を取得

■ 国内線旅客の取り込み

- スカイライナー割引チケット発行機の設置（新千歳空港内2か所）



- 同発行機の設置場所拡大の検討

3.沿線エリアの魅力向上

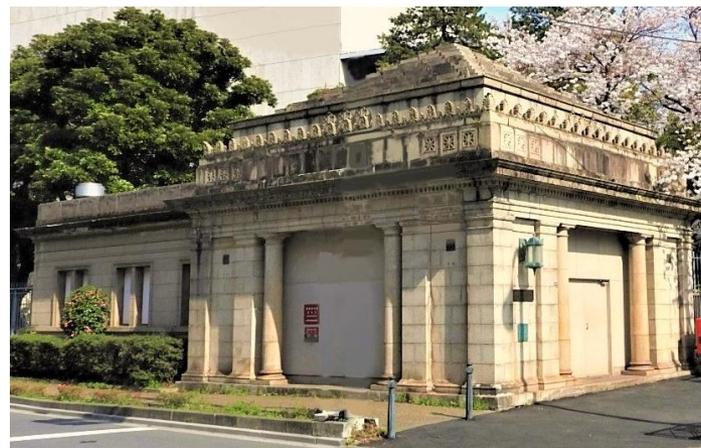
■ 上野エリアの活性化

- 上野駅リニューアル工事を推進



上野駅（イメージ）

- 「旧博物館動物園駅」 駅舎の保存・活用



- 鉄道施設としては初めて「東京都選定歴史的建造物」に選定された「旧博物館動物園駅」駅舎を保存・活用

- 東京藝術大学との連携



- 東京藝術大学と締結した「連携・協力に関する包括協定書」に基づき、「旧博物館動物園駅」駅舎の活用や上野駅リニューアルで連携・協力

■ 千葉中央駅周辺エリアの活性化

➤ 千葉中央駅西口ビルの建て替え(2021年秋オープン予定)

– 「千葉中央駅」直結 地上8階建ての複合ビル

– 商業施設、オフィス、ホテルが入居予定

➤ 優良な住環境の提供

– サングランデ ザ・レジデンス千葉

イーストレジデンス 90戸(2018年度販売開始)



■ 鉄道施設の強靱化による安全性・信頼性の向上

➤ ホームドアの設置

- 日暮里駅 上りホーム (2018年度末)
- 成田空港駅・空港第2ビル駅 (~2019年度)



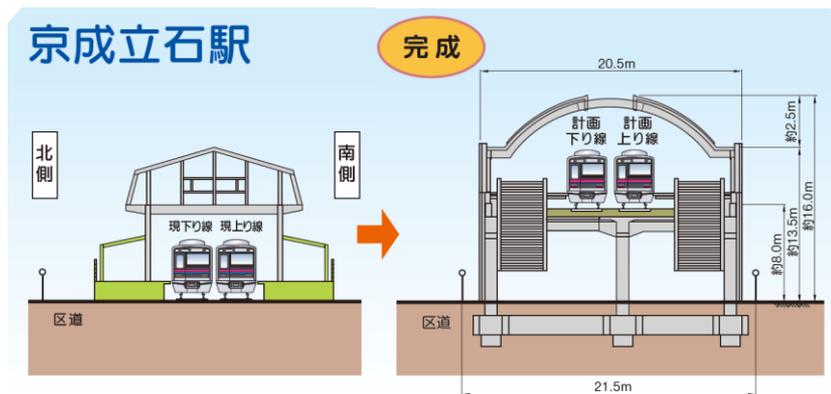
ホームドア (写真は日暮里駅下りホーム)

➤ 災害対策の強化

- 耐震補強工事の推進

➤ 葛飾区内連続立体交差化 (四ツ木駅~青砥駅間)

- 区間内11か所の踏切を廃止予定



京成立石駅 連続立体交差化 (イメージ)

■ お客様サービスの向上

- ダブルデッカー車両の導入
 - バリアフリー実証運行開始(有楽町シャトル)
 - 車いすのお客様の乗降時間短縮



車いす乗降時のスロープ

- 新形通勤型車両の設計に着手

- Japan Taxi (ユニバーサルデザインタクシー) 導入
 - 2018年度内に京成グループ合計210両導入予定(2017年度で102両導入済)



- スカイライナーへの車いすスペースの増備
 - 2018年度内に全編成で完了予定



増設前



増設後

- I. 2018年3月期の業績
- II. 2019年3月期の取り組み
- III. 2019年3月期の業績予想**
- IV. E3プランの進捗状況
- V. 参考資料

1.業績予想概要（当期比較）

営業収益・営業利益・経常利益は過去最高

単位：百万円、%	2019/3 予想	2018/3 実績	増減	率
営業収益	265,200	255,028	10,171	4.0
営業利益	31,000	30,085	914	3.0
（営業利益率）	11.7	11.8	△0.1pt	-
経常利益	47,300	47,145	154	0.3
持分法投資利益	17,800	18,178	△378	△2.1
親会社株主に帰属 する当期純利益	34,600	34,811	△211	△0.6
減価償却費	26,500	25,531	968	3.8
有利子負債残高 ※	295,900	302,301	△6,401	△2.1
EBITDA倍率 （倍）※	5.2	5.5	△0.3pt	-

※EBITDA倍率 = 有利子負債残高 ÷ (営業利益 + 減価償却費)

なお、有利子負債残高にはリース債務を含む

■ 営業収益増減（セグメント別）

（単位：百万円）



■ 営業利益増減（セグメント別）

（単位：百万円）



2.セグメント別業績予想（運輸業）

鉄道・バス事業で成田空港輸送が好調に推移し、**増収増益**

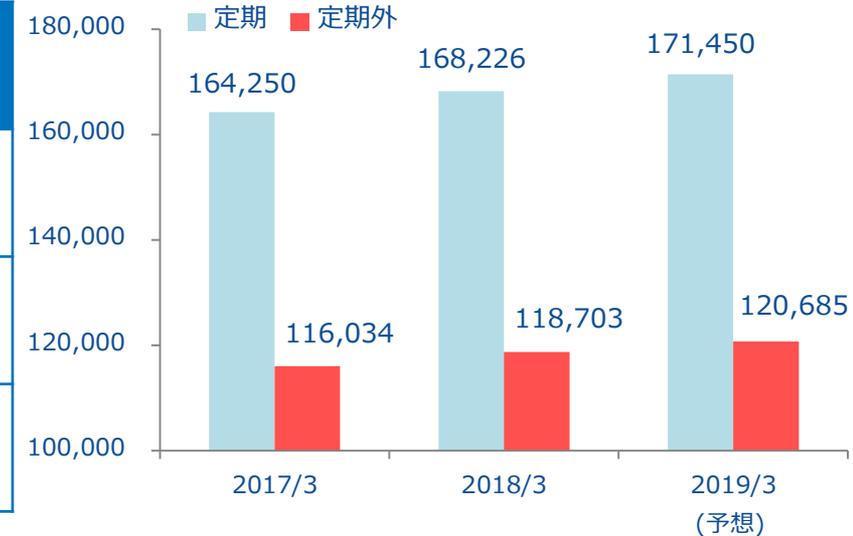
単位：百万円、%	2019/3 予想	2018/3 実績	増減	率	増減要因
営業収益	153,500	148,894	4,605	3.1	
鉄道事業	82,100	79,824	2,275	2.9	成田空港輸送の増
バス事業	46,000	45,207	792	1.8	高速バス収入の増
タクシー事業	25,400	23,862	1,537	6.4	京成タクシー習志野の新規連結
営業利益	22,400	20,534	1,865	9.1	
鉄道事業	17,400	15,388	2,011	13.1	
バス事業	4,200	4,365	△165	△3.8	減価償却費・燃料費の増
タクシー事業	800	779	20	2.6	
減価償却費	22,100	21,350	749	3.5	

2.セグメント別業績予想（運輸業） - 運輸成績[当社単体]

■ 輸送人員

単位：千人、%	2019/3 予想	2018/3 実績	増減	率
定期	171,450	168,226	3,224	1.9
定期外	120,685	118,703	1,982	1.7
合計	292,135	286,929	5,206	1.8

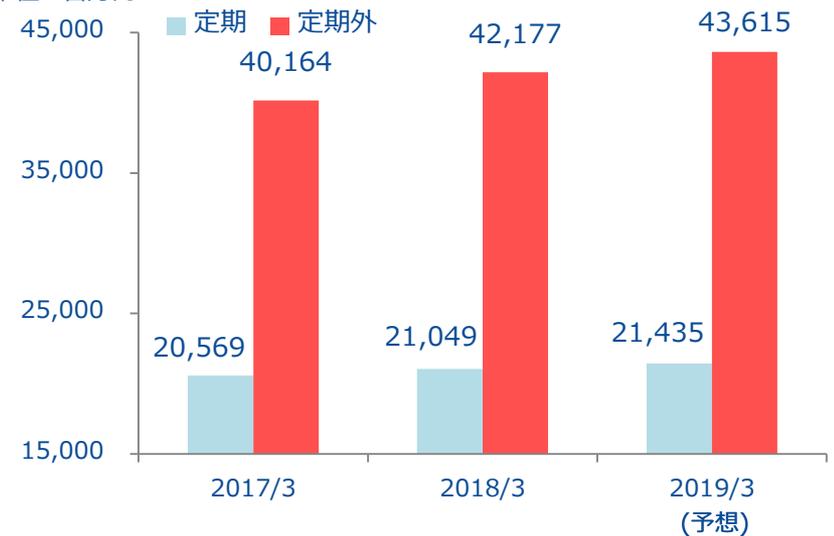
単位：千人



■ 旅客運輸収入

単位：百万円、%	2019/3 予想	2018/3 実績	増減	率
定期	21,435	21,049	386	1.8
定期外	43,615	42,177	1,438	3.4
合計	65,051	63,227	1,824	2.9

単位：百万円

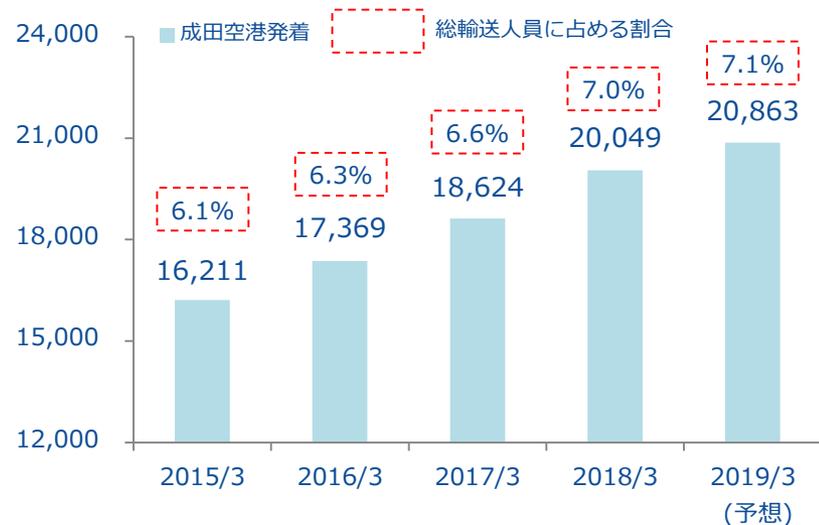


2.セグメント別業績予想（運輸業） - 成田空港輸送成績[当社単体]

■ 輸送人員

単位：千人、%	2019/3 予想	2018/3 実績	増減	率
成田空港発着	20,863	20,049	814	4.1
有料特急	5,932	5,544	388	7.0

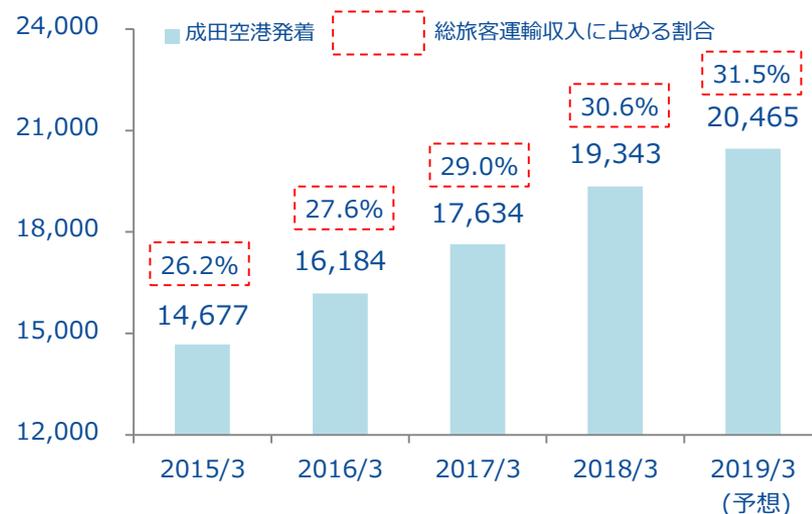
単位：千人



■ 旅客運輸収入

単位：百万円、%	2019/3 予想	2018/3 実績	増減	率
成田空港発着	20,465	19,343	1,122	5.8
有料特急	5,678	5,278	400	7.6

単位：百万円



3.セグメント別業績予想（不動産業）

マンション販売単価の増、新規賃貸物件の稼働により**増収**

単位：百万円、%	2019/3 予想	2018/3 実績	増減	率	増減要因
営業収益	21,200	20,219	980	4.8	
販売業	6,200	5,598	601	10.7	マンション販売単価の増 ※
賃貸業	11,300	11,011	288	2.6	新規賃貸物件の稼働及び通期寄与 ※
管理業	3,700	3,609	90	2.5	
営業利益	6,200	6,651	△451	△6.8	※主な分譲マンション・新規賃貸物件
販売業	400	875	△475	△54.3	分譲マンション（2017年度）
賃貸業	5,600	5,527	72	1.3	・サングランデ ザ・レジデンス千葉 ウエストレジデンス 98戸（2018年2月引渡）
管理業	200	248	△48	△19.4	分譲マンション（2018年度）
					・サングランデ津田沼 81戸
					新規賃貸物件
					・押上線高架下 賃貸施設（2016年10月より順次稼働）
減価償却費	3,200	3,130	69	2.2	・葛飾区 賃貸住宅（2017年9月）
マンション 販売戸数（戸）※	81	98	△17	-	・成田市 賃貸住宅（2018年2月）
					・千葉市 立体駐車場（2018年3月）

4.セグメント別業績予想（流通業）

百貨店業の増収やストア業の新店効果により、**増収増益**

単位：百万円、%	2019/3 予想	2018/3 実績	増減	率	増減要因
営業収益	70,800	68,581	2,218	3.2	
ストア業	37,900	37,233	666	1.8	新店開業による増 ※
百貨店業	26,600	25,611	988	3.9	サテライトショップ開業による増 ※
その他	6,300	5,737	562	9.8	園芸植物卸売業の増
営業利益	800	663	136	20.5	※主な新店等 京成ストア（リブレ京成） ・リブレキッチン国府台店 オープン（2017年9月） 他 コミュニティー京成（ファミリーマート） ・公津の杜駅店 オープン（2018年3月） ・津田沼パルコ店 オープン（2018年3月） ・京成曳舟駅構内店 オープン（2018年4月） 他 水戸京成百貨店 ・京成百貨店つくばショップ オープン（2018年4月）
ストア業	300	399	△99	△25.0	
百貨店業	100	29	70	237.4	
その他	400	234	165	70.9	
スーパーマーケット店舗数 ※	22	21	1	-	
コンビニエンスストア店舗数 ※	52	48	4	-	

5.セグメント別業績予想 (レジャー・サービス業、建設業、その他の事業)

■レジャー・サービス業

単位：百万円、%	2019/3 予想	2018/3 実績	増減	率	増減要因
営業収益	9,400	9,252	147	1.6	
営業利益	100	169	△69	△40.9	

■建設業

単位：百万円、%	2019/3 予想	2018/3 実績	増減	率	増減要因
営業収益	26,100	22,255	3,844	17.3	完成工事高の増
営業利益	1,000	1,497	△497	△33.2	利益率の低下

■その他の事業

単位：百万円、%	2019/3 予想	2018/3 実績	増減	率	増減要因
営業収益	9,500	8,603	896	10.4	鉄道車両整備業の増
営業利益	400	476	△76	△16.0	

I. 2018年3月期の業績

II. 2019年3月期の取り組み

III. 2019年3月期の業績予想

IV. E3プランの進捗状況

V. 参考資料

■ E3プラン最終年度（2018年度） 数値目標

営業利益 280億円 以上	営業利益率 11%以上	経常利益 440億円 以上
----------------------------	-----------------------	----------------------------

有利子負債残高
上限3,250億円
 (EBITDA倍率 上限6.1倍)



成長への収益基盤確立

将来への投資
 (戦略投資枠**400億円**の設定)

成長への基盤整備



持続的な成長に向けた 収益拡大への挑戦

- ・ インバウンド市場の深耕
- ・ 事業機会を活かした収益拡大
- ・ 沿線エリアの魅力向上

安全かつ安心な サービスの提供

- ・ 安全・安心の確保並びに
サービス品質の向上

経営基盤の 一層の強化

- ・ 財務健全性の向上並びに
グループ経営体制の充実

- 戦略投資枠…中長期的な収益拡大及びサービス・安全性の向上に資する投資を対象に、「E3プラン」期間で最大400億円を設定

戦略投資枠活用方針

具体的案件（予定含む）

運輸業

- 東京オリンピック開催に向けた駅施設・車両の改善
- 訪日外国人受入体制強化のための駅施設リニューアル

- 上野駅リニューアル
- 空港駅リニューアル
- 券売機多言語化
- ホームドア設置

不動産業

- 不動産賃貸物件の取得

- 四街道市商業施設
- 八千代台賃貸住宅
- 千葉市立体駐車場

その他

- M & A 及び新会社への出資、グループ会社への投融資
- グループ会社が行う投資案件

- 帝都葛飾交通取得
- 宿泊主体型ホテル会社設立
- 不動産会社取得

次期中期経営計画

Eプラン (2010～2021年度)

E1プラン
(2010～2012年度)

E2プラン
(2013～2015年度)

E3プラン
(2016～2018年度)

E4プラン
(2019～2021年度)

ポストEプラン
(2022年度～)

次期中期経営計画「E4プラン」に向けた課題

東京五輪後も見据えたインバウンド需要取り込み

沿線価値の向上

安全・安心の確保、サービスの向上

資本政策のあり方検討

成長の実現

I. 2018年3月期の業績

II. 2019年3月期の取り組み

III. 2019年3月期の業績予想

IV. E3プランの進捗状況

V. **参考資料**

ESGへの取り組み

Environment (環境)

■ 環境性能に優れた車両の導入推進



VVVF車両+回生ブレーキ



ハイブリッド車両



Japan Taxi

■ エコ制服



ペットボトル・再生ポリエステル素材を使用した制服

■ リサイクルの取り組み



リブレ京成の古紙・ペットボトルのリサイクルステーション

ESGへの取り組み

Society (社会)

■ お客さま感謝イベントの開催

- 京成電鉄 宗吾車両基地 キッズフェスタ



■ 踏切安全教室の開催

- ご高齢の方々を対象に、踏切の安全に関わる講習・体験会を、葛飾警察署と合同で開催



■ 職業体験型学習プログラムの実施

- 京成きっずアカデミー
 - 夏休み期間中、小学生を対象に京成グループの様々な仕事を楽しく学べる地域交流活動を実施



■ オリジナル絵本の制作・寄贈

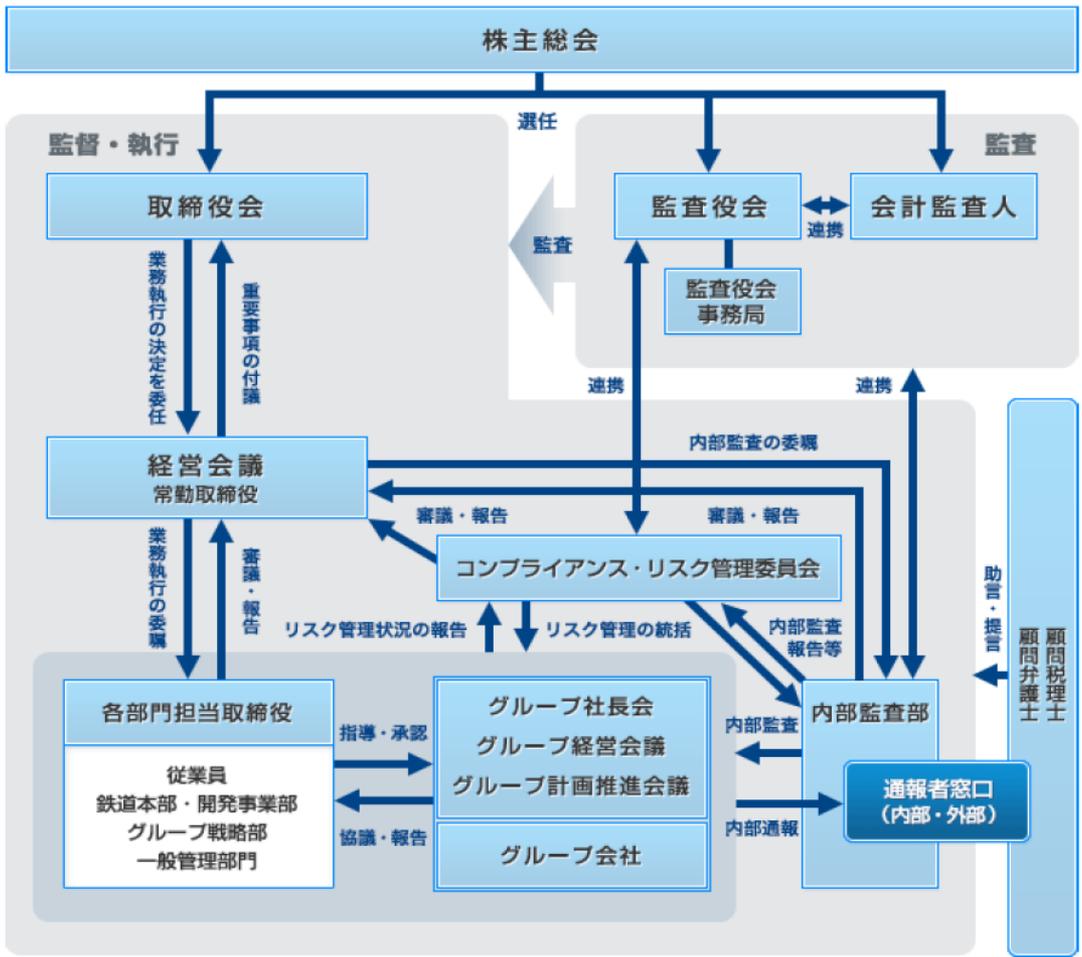
- スカイライナーえほん
 - オリジナル絵本を制作し、沿線の幼稚園、保育園や図書館等へ寄贈予定



ESGへの取り組み

Governance (企業統治)

■ 当社グループのコーポレート・ガバナンス体制



グループ経営理念

京成グループは、お客様に喜ばれる良質な商品・サービスを、安全・快適に提供し、健全な事業成長のもと、社会の発展に貢献します。

経営理念

長期経営計画
「EVOLUTION PLAN」

中期経営計画
(3か年計画)

長期経営計画「EVOLUTION PLAN」 (= Eプラン) 〔2010年度～2021年度 12ヶ年〕

E1プラン
(2010～2012年度)

E2プラン
(2013～2015年度)

E3プラン
(2016～2018年度)

E4プラン
(2019～2021年度)

グループ事業の中核である交通運輸事業の競争力・収益力を更に強化すると共に、千葉県北西部（特に京成線・新京成線・北総線沿線）並びに東京都東部を地盤として地域に密着した堅実な総合生活産業を展開し、地域経済を代表する企業グループの地位を拡充する。

■ 最終年度（2021年度）数値目標

営業収益
2,800億円以上

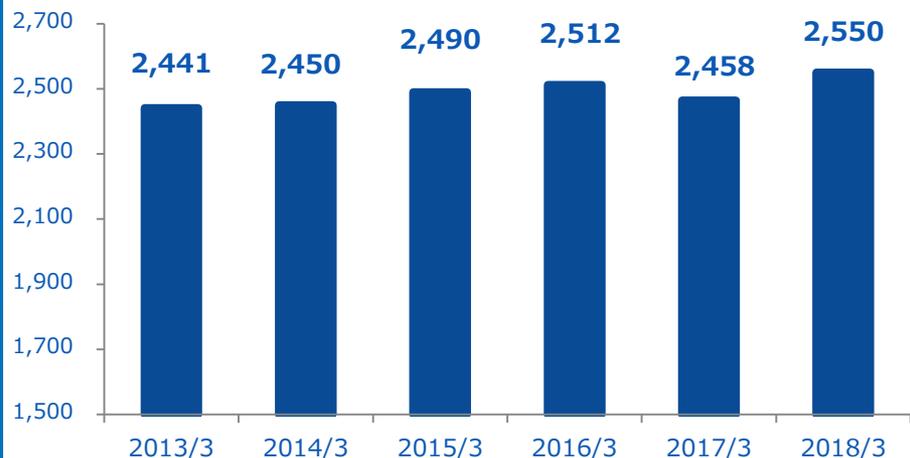
営業利益率
10%以上

有利子負債残高
3,500億円以下
(EBITDA倍率 7倍以下)

長期経営計画「Eプラン」の進捗

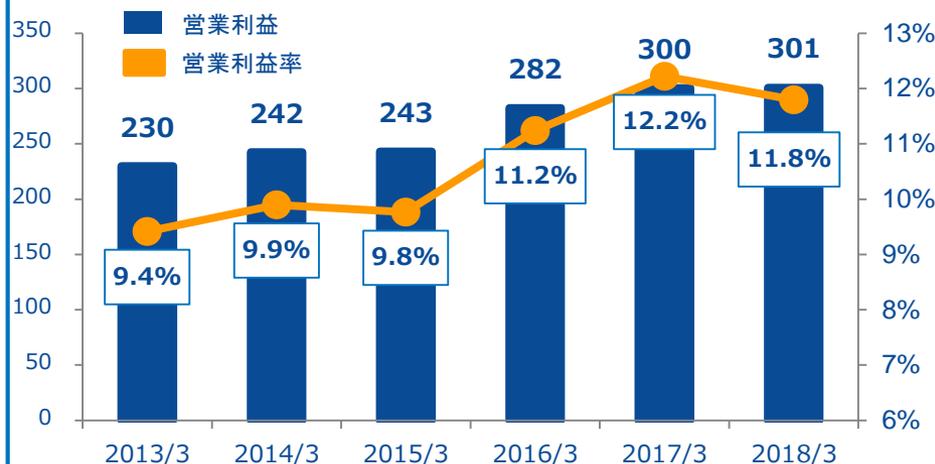
■ 営業収益

(単位：億円)



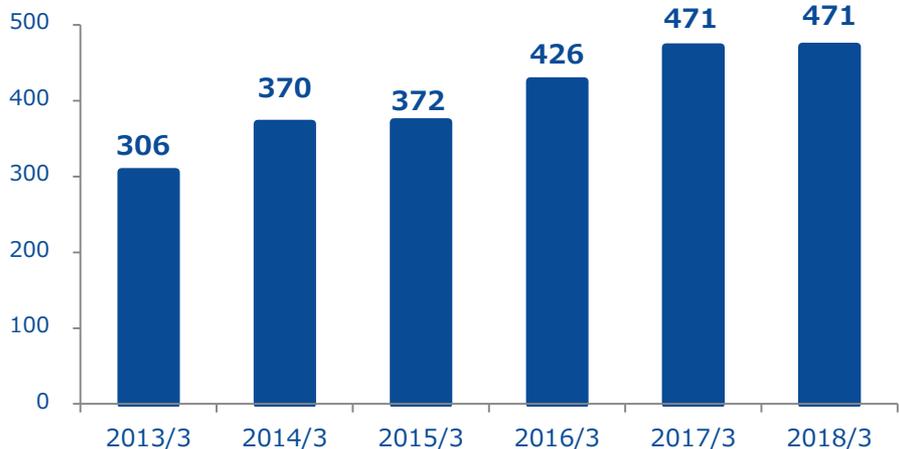
■ 営業利益・営業利益率

(単位：億円、%)



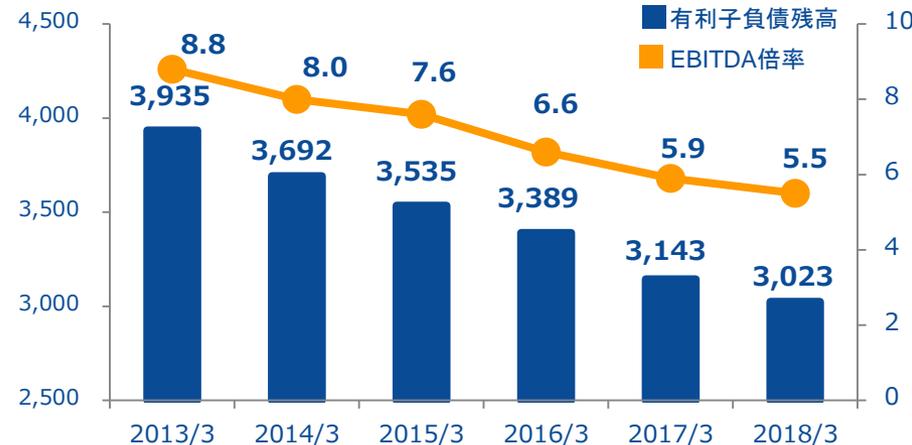
■ 経常利益

(単位：億円)



■ 有利子負債・EBITDA倍率

(単位：億円、倍)

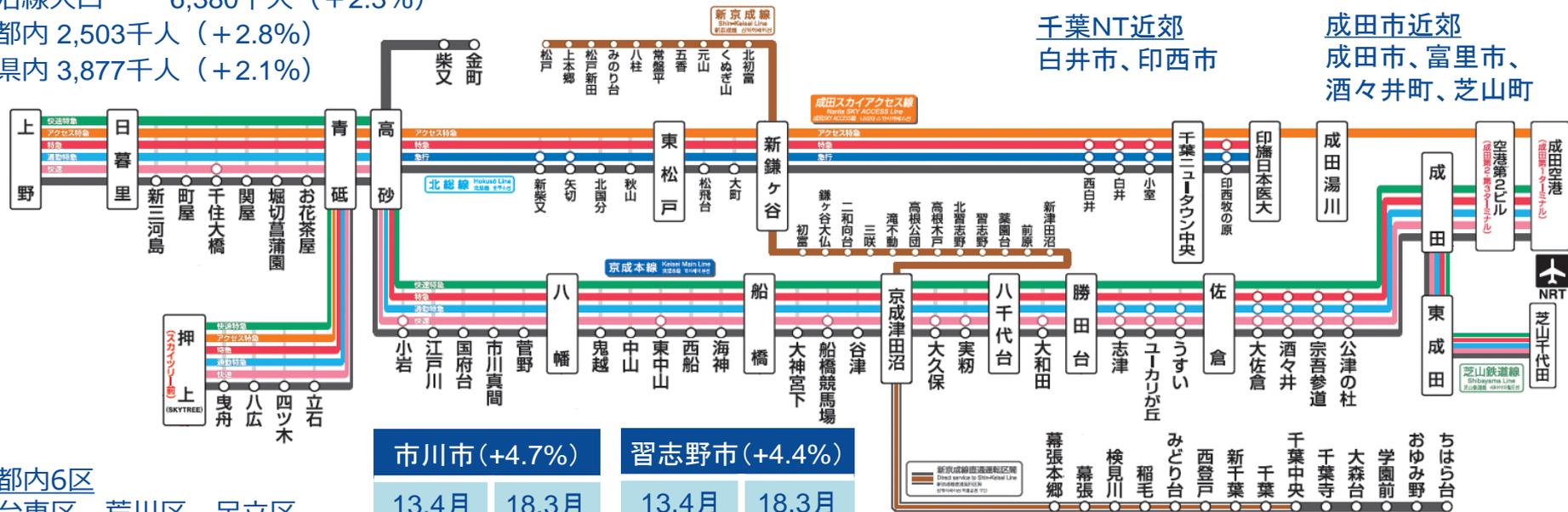


2018年3月、2013年4月（前中期経営計画「E2プラン」初年度）比

単位：千人

京成エリア 東京都東部・千葉県
 営業距離 178.8km(当社、北総、新京成)
 駅数 101駅
 自治体数 都内6区、県内13市2町
 沿線人口 6,380千人 (+2.3%)
 都内 2,503千人 (+2.8%)
 県内 3,877千人 (+2.1%)

松戸市(+1.7%)		鎌ヶ谷市(+0.5%)		千葉NT近郊(+4.8%)		成田市近郊(+0.7%)	
13.4月	18.3月	13.4月	18.3月	13.4月	18.3月	13.4月	18.3月
480	488	109	109	152	159	209	210



都内6区
 台東区、荒川区、足立区
 葛飾区、江戸川区、墨田区

市川市(+4.7%)		習志野市(+4.4%)		船橋市(+3.3%)		八千代市(+3.2%)		佐倉市(△0.1%)		千葉市(+1.2%)		市原市(△2.2%)	
13.4月	18.3月	13.4月	18.3月	13.4月	18.3月	13.4月	18.3月	13.4月	18.3月	13.4月	18.3月	13.4月	18.3月
468	490	165	172	613	633	190	196	172	172	964	975	278	272

数値は自治体公表値による

本資料の情報のうち、過去の事実以外のものは将来の見通しであり、リスクや不確実性を含んだものです。実際には様々な要因により異なる結果となる場合があることをご承知おきください。

本資料は、弊社ホームページでご覧いただけます。
<http://www.keisei.co.jp/keisei/ir/index.html>